

社会を形成しながら 豊かな老後を送る

自立型の施設の中でも、日本一のスケール感ではないだろうか。「サンシティ横浜」の充実した施設とサービスには目をみはる。来年6月には、隣接した敷地に「サンシティ横浜南」がオープン予定。こちらは、モデルルームの見学会が12月から始まる予定だ。「豊かな老後」の、一つの完成形がそこに在る。



明るい笑顔でウェイトレスが迎えてくれるダイニング。
ランチは3種類から予約なしで選ぶことができる

シニアライフ
充実読本



ホテルのような 高級感のある施設

豊かな緑に囲まれた2万5千坪超という広大な敷地である。横浜から車で約20分、市街を一望する丘陵地帯に広がる高齢者マンション「サンシティ横浜」を訪れた。天井の高いロビーに受付デスク、まるで高級リゾートホテルのような開放感。きれいに磨かれた窓からは、毎日造園業者が手入れをするという見事な中庭が見える。樹齢百年を超える大銀杏や桜の姿に、四季折々の美しさはいかばかりか、と想像する。

オープンは2005年。全480室、加えて介護棟には120室が用意されている。その「ホテルに住まうような」豪華な設備は大きな話題をさらった。建築、ランドスケープ、内装ともにデザインはシニア住宅の先進国であるアメリカの会社によるもので、機能を備えながらも品の良い華やかさが漂う。とくに共有スペースの充実ぶりは素晴らしい。館内にはダイニングルーム、図書室、ビリヤード場、ダンスホール、映画鑑賞室、ジム、プール、大浴場などがあり、どこも贅沢にたつぷりとスペースが取られている。プールは20mのレーンが3本という本格的なものだし、ダンスホールも、クラシックコンサー



お客様相談係の玉野朋美さん

トや寄席が催されるに十分な広さだ。敷地はイースト館とウエスト館の2棟から構成され、渡り廊下で自由に行き来できるが、動線にはあちらこちらにちよつとした椅子とテーブルが置かれていて、日当たりの良いテラス席には心誘われる。

日々の健康管理には館内クリニックの他、複数の医療機関とのネットワークできめ細かく対応。入居は自立した健康状態であることが条件だが、将来、要介護状態になっても、追加費用の負担はなしで、介護居室に移ることができる。看護師、ケアスタッフが、こちらも24時間、生涯に渡って手厚くサポートしてくれるのだ。その安心感は計り知れない。

理想のホスピタリティ 「サンシティ横浜南」も登場

館内で行き交う入居者は皆、晴れやかな様子をしている。一点の曇

りなく人生を満喫しているように映るのだ。こちらでは、門限もなく、来客を自室に泊めるのも自由である。入居者の人生に敬意を払い、余計な干渉は一切しない。行き届いた施設を提供し、後は自由に使ってくださいというスタンスなのだ。盛んなサークル活動は入居者の自治に任され、外部から講師を招く場合の交渉も自分たちで行う。一人ひとりが、このコミュニティを能動的に形成しているのが伝わってくる。それは、他者から切り離されることのない老後だ。親族と同居するよりも、孤立しない選択かもしれない。

感銘を受けたのはスタッフのホスピタリティだ。節度を保ちながら、ひじょうに目が行き届いている。話を聞いたスタッフは、入居者すべての顔と名前を記憶しているという。入居して初めてダイニングルームを訪れたときに、食事をサーブするスタッフに名前を呼ばれて挨拶され、驚いたという話があるほどだ。居室にも生活安全センサーや、緊急コールは付いているが、スタッフ間で2日以上顔を見ない入居者について情報交換するなど、人の目による心配りが、この徹底したホスピタリティを支えている。華麗な設備に目を奪われるが、「サンシティ横浜」の真髄はハードよりも、むしろソフトにあ

元気なうちに 将来を見据えた選択を

しかし、朗報がある。来年6月、隣接する敷地に「サンシティ横浜南」がオープンするのだ。規模は多少小さくなり、プールが無いなどの相違点もあるが、基本的な設備とホスピタリティは同じである。

「サンシティ」は、関東と関西地区に全部で14施設を有する。運営するのは（株）ハーフ・センチュリー・モア。日本の大手企業約100社の出資による経営母体は、無借金経営を貫いている。目指すのは、サンシティの全施設が掲げる理念、「もう半世紀すこやかに」過ごせる環境だ。

これだけの設備とサービスである。どれだけの資金があれば入居できるのかと思ったが、入居一時金は健康管理費含め約3千万円、月々の生活費は食事をした分と施設使用

料、居室の光熱費などで、平均約20万円となる。持ち家売って入居一時金を払い、生活費を年金で払うことができるのは、決して富裕層ばかりではないだろう。共有スペースのすべてが自宅になると考えれば、むしろ安いと感じる。

とが、本当に幸せなのだろうか。自力で居心地良く暮らせる限界は、いつかきつとやって来る。自分と家族の将来について、元気なうちに腰を据えて、考えておくべきなのだろう。「サンシティ」は限りなく理想に近い選択の一つだ。入居者とスタッフ双方の明るい笑顔が胸を離れない。



右上：高級感のあるダイニング。定期的にピアノの生演奏が入る（「サンシティ横浜南」完成予想CG）
右下：44㎡～82㎡の様々なタイプの居室をご用意
左上：美しい中庭が四季折々の移ろいを教えてくれる。桜の時期には花見もできる
左下：入居者の憩い場所となるラウンジは、明るく開放的だ
*上記、ダイニング以外の写真は「サンシティ横浜」



●「サンシティ横浜」所在地／神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町1625-1●交通／相鉄本線「和町」駅下車、車で7分（2.4km）●類型／介護付有料老人ホーム●介護保険／神奈川県指定介護保険特定施設（一般型特定施設）●権利形態／利用権方式●入居条件／入居時自立、原則満65歳以上の方●介護に関わる職員体制／1.5対1以上●総居室数／600室【一般居室480室・介護居室120室】●共用設備／ダイニング、大浴場、ライブラリー、AVルーム、和室、サンシティホール、アトリエ、麻雀室、ビリヤードルーム、クラブルーム、温水プール、フィットネスルーム、ヘアサロン●土地・建物の権利形態／事業主体所有●利用料の支払い方式／一時金方式●入居一時金／2,570万円～9,340万円※1人入居の場合。2人入居の場合は上記費用に1,000万円加算●入居一時金の返還制度／入居時15%償却後、残額を15年均等償却●月額利用料（税込）／管理費：1人入居102,900円、

2人入居150,150円（共用部分の光熱水費、維持管理費、事務費、事務管理部門の人件費に充当）※居室内の光熱水費は別途。食費：朝食525円、昼食735円、夕食945円（1日3食・30日換算66,150円/1人）※喫食分のみの支払い。ただし全く喫食しなかった場合でも基本料金21,000円が必要●健康管理費／525万円【1人当たり。入居時のみ支払い。健康相談、「特定施設入居者生活介護等」の利用契約締結までの定期健康診断及び人間ドックの費用、自立者に対する疾病時の一時的な介護・看護の費用に178.5万円、介護認定を受け、「特定施設入居者生活介護」締結後、介護保険でカバーされないサービスの費用（基本の職員の配置は、要介護者1.5対直接処遇人員1以上）に346.5万円。合計525万円として合理的な算定根拠に基づく】●事業主体・運営／（株）ハーフ・センチュリー・モア